

第2章 2、律令国家の成立 b, 律令国家への道(2) (教p33~34)

- ①天武天皇・[1 持統]天皇(天武天皇の皇后)のもとで強力な改革が進む
→基調…天皇の強大な権力獲得、[2 皇族]の重用(皇親政治)
「天皇は[3 神]にしなければ…」→日本史上天皇の地位がもっとも強かった時代?!
・[4 唐]の制度に学んだ[5 中央集権]的な法・政治システムの整備
([6 律令]政治体制)
・土地・農民への国家支配強化([7 公地公民]制へ)
- ②歴史の編纂→[8 古事記](712)、[9 日本書紀](720)として完成
(←[10 天皇]支配の正当性を位置づける)
- ③法の制定…[11 飛鳥浄御原](律)令 →[12 大宝]律令(文武 701)→711養老律令
- ④身分制度の再編成…[13 八色の姓] 14 豪族を天皇中心の身分秩序に編成しなおす
- ⑤戸籍の整備=庚寅年籍 15 国家による民衆の把握をすすめ、班田収授法 実施への準備を進める
- ⑥首都の整備…飛鳥浄御原宮(天武)→ [16 藤原]京(持統)

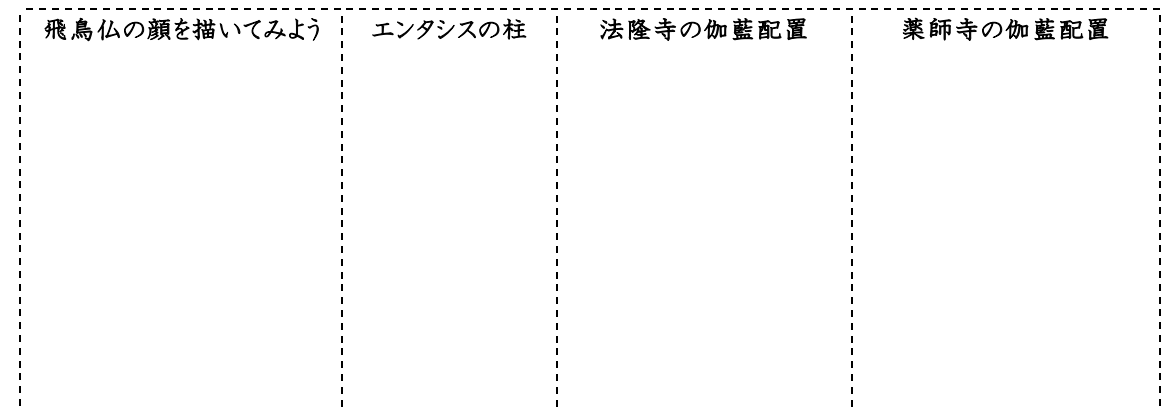
天武天皇は、官僚制の形成を進め、684年には[17 八色の姓]を定めて豪族たちを[18 天皇]を中心とした身分秩序に編成した。また、律令・国史の編纂や銭貨([19 富本銭])の鑄造、中国の都城にならった都の造営をはじめたが、その完成の前に亡くなった。
あとを継いだ皇后[20 持統]天皇は諸政策を引き継ぎ、689年には[21 飛鳥浄御原]令を施行し、694年には本格的な宮都[22 藤原京]に遷都した。

1. 飛鳥の朝廷 b.飛鳥文化 (図録p34~38 教p30~31)

- ①6世紀、仏教の伝来→[23 7]世紀初蘇我氏・朝廷の保護により急速に発展→[24 飛鳥]文化成立
初期の仏教の性格…[25 呪術]の一種、寺院・仏像…古墳にかわり[26 豪族の権威]を示す
おもな寺院…[27 飛鳥]寺(法興寺)、斑鳩寺([28 法隆]寺)・四天王寺 (教31)
蘇我馬子建立 厩戸王建立・世界最古の木造建築
- ②飛鳥文化の特徴
(1)最初の[29 仏教]中心の文化
(2)[30 百済] [31 高句麗]、[32 南北朝]時代の中国の影響
仏像=[33 アルカイックスマイル](古拙の微笑)を浮かべ、[34 南北朝]型の目をする(図36~37)
北魏様式=法隆寺金堂[35 釈迦三尊像](鞍作鳥作)、飛鳥寺釈迦如来像(飛鳥大仏)
法隆寺夢殿[36 救世観音像]
特徴:左右対称・[37 杏仁]形の目・仰月形の口・パターン化された衣文
南朝様式=法隆寺[38 百済観音]像、広隆寺半跏思惟像([39 弥勒菩薩]像)
中宮寺半跏思惟像(弥勒菩薩像)
特徴:自然でリアルな人体表現・自然な衣文

(3)文化の[40 国際性]…ギリシア・[41 西アジア]・インドなどの影響もみられる

例:法隆寺の柱の[42 エンタシス]、法隆寺[43 獅子狩文錦]、[44 忍冬唐草]文様
ギリシア神殿にみられる ササン朝の絵柄 古代エジプトが発祥



・工芸…法隆寺[45 玉虫厨子]、[46 中宮寺天寿国繡帳] (図38)
表面をタマムシの羽で覆う 厩戸王の天寿国での姿を描く

・学問…厩戸皇子「[47 三経義疏]」を編纂=仏教の学問的研究・高度な理解に達する
・暦…[48 観勒](百済の僧)、紙・墨・絵の具…[49 曇徴](高句麗の僧)が伝える

C, 白鳳文化 (図42~45 教34~35)

時期:[50 天武・持統]朝、律令形成期の文化
(7世紀末~8世紀初頭)

担い手:[51 皇族・貴族]・地方豪族

特長:中国[52 唐初期]の文化影響をうけ、
律令形成期の53 生氣のある若々しい文化

中心:大官大寺・[54 薬師寺]など官立の大寺院
→仏教への[55 国家]による保護・監督の強化

おもな建築:[56 薬師寺東塔]「凍れる音楽」(フェノロサ)

彫刻:[57 金銅]像が中心・興福寺仏頭、[58 薬師寺金堂薬師三尊像]、法隆寺阿弥陀三尊像
→ (橘夫人念持仏)

おもな絵画:[59 法隆寺金堂壁画]、[60 高松塚]古墳壁画
→アジャンタ石窟壁画に酷似 →[61 高句麗]の影響

文学:漢詩文の発達([62 大津皇子]ら)→[63 漢字]文化と[64 儒教]思想が地方豪族にも広がる
和歌の詩型の固定化([65 柿本人麻呂]・額田王ら)

